

登録コード	ASB01500	開講年度	2026					
授業科目	生命機能科学特論					担当教員	喜井 勲	
英文授業名	Advanced Lecture in Life Science and Biotechnology					副担当	鈴木 俊介	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・3時限		対象学生	修士
講義室	農学部13番講義室			授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ							
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。					⇔	研究開発において必要となる知的財産権（特許）について学び、研究成果の権利を取得する方法について学ぶ。 論文発表と特許出願の異なる点について学び、それぞれの研究開発における違いを理解する。	
授業の概要	1. 研究テーマの設定 2. 生命科学・食品科学などの分野の最先端研究者とのディスカッション 3. 研究成果プレゼンテーションと質疑応答 4. 知的財産権（特許）について							
Contents:	1. How to find research themes 2. Discussion with top scientist in life science 3. Presentation of what we do in the laboratory and discussion 4. How to propose a patent							
授業計画	第1回 イントロダクション (喜井) 第2回 創薬研究開発の最先端 (喜井) 第3回 オミクス解析学 (鈴木) 第4-5回 知的財産権について (喜井) 第6-7回 研究成果プレゼンテーション1 (鈴木) 第8-9回 研究成果プレゼンテーション2 (喜井) 第10-15回 最先端研究者とのディスカッション (喜井・鈴木・外部講師)							
成績評価の方法	(1) 授業の態度(討論における質疑応答など) 配点30点 (2) プレゼンテーションの質・内容・質疑応答の回数及び質 配点30点 (3) 提出されたレポートの数・質 配点40点 上記の3つを総合評価する(100点満点)。 秀S:90-100 優A:80-89 良B:70-79 可C:60-69 不可D:59以下							
成績評価の基準	合格水準は、「学内教員や外部講師の講演内容を正しく理解し、これに対して適切に質問し、講演者から適当な回答を得ること。加えて、自らの研究成果を正しく伝えるプレゼンテーションを実施し、聴取からの質問に適切に回答できること」とする。さらに、講演者(学内教員・外部講師・同履修者)のプレゼンテーションに対して、その研究をさらに発展させる建設的な質問やコメントができていれば、高い評価を与える。							
事前事後学習の内容	農学部内にて開催される学内教員や外部講師を招いたセミナーなどへの積極的な参加を求める。セミナーでの質問・質問に対する講演者の回答をまとめたレポートを提出することで、レポート提出1回とカウントする。自らが所属する研究室でのセミナーなどはカウントしない。所属研究室外にて行われるセミナーへの参加とレポート提出は評価対象としてカウントする。また履修者が行なった質問に対する学内教員・外部講師のコメントも評価に加えて判断する。また学会などに参加して知り得た、自らが役に立つ、もしくは興味深いと判断した情報(発表内容など)をまとめたレポートについても提出することができる。							
履修上の注意	レポート提出期限は、レポート課題の提示日もしくはセミナー開催日から2週間以内とする。 この授業は令和8年度まで開講されますが、令和9年度以降は開講されません。							
質問,相談への対応	随時受け付ける。							
学生へのメッセージ	グループワークやプレゼンテーションを中心とした講義であるため、受講者には積極的な発言が求められる。							
【教科書】	なし							
【参考書】	必要に応じて適宜資料を配布する。							